

# 赤いりんご vol.93

フリーフレードクター！

青森県医師会  
医師応援キャラクター  
フリーフレードクター

残暑が落ち着いた途端、急な秋の訪れを感じるようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。朝夕の冷え込みなど、気温差が厳しくなってきましたので、皆様どうぞご自愛ください。



兼六園

## 🍎 今月号の内容

- ・第1回青森県医師会男女共同参画委員会報告
- ・相談受付担当者向けハラスメント講演会
- ・臨床研修病院等訪問(青森県立中央病院)

## 🍎 活動報告

- ・8/27 8月ワークライフバランス推進室運営会議
- ・9/7 臨床研修病院等訪問(青森県立中央病院)
- ・9/28 9月ワークライフバランス推進室運営会議

## 第1回青森県医師会男女共同参画委員会報告

令和8年7月23日 青森県医師会館・オンライン開催

### ・開会の挨拶 富山副会長

近年、若い世代の医師における男女比の変化や男性医師の育児休業取得率の上昇など、男女共同参画を取り巻く環境は変化しているが、医師の地域偏在や働き方、価値観の多様化など、依然として多くの課題が残されている。青森県の医師一人ひとりが、医療や社会貢献のみならず、プライベートも含めて充実した人生を送るためには、さまざまな立場から意見を出し合い、青森県の実情に合った男女共同参画の取組を進めていくことが重要であると考えている。

### ・医師相談窓口受付状況(R8.4月～6月)

夏季休暇や年休の取り方についての相談が多く寄せられた。

### ・研修病院等訪問報告

令和8年6月16日に八戸市立市民病院で行われた臨床研修病院等訪問について報告した。研修医からは、都会と地方における収入面の違いや、学習・勤務時間・収入のバランスについて率直な意見があり、上級医からは、若いうちに症例経験や緊急対応などの自己研鑽の機会を計画的に確保することや、時間単位の休暇制度の活用について助言があった。本音や具体的な悩みについて意見交換できる有意義な機会となった。

### ・令和8年度青森県医師会・弘前大学医学部男女共同参画セミナーについて

弘前大学の授業の一環として「青森県医師会・弘前大学医学部男女共同参画セミナー」を開催した。八戸市立市民病院事業管理者である救急医の今明秀先生を講師に招き、「劇的救命」をテーマとして、ドクターヘリによる治療の実際やドクターカーの運用、救命現場での経験等についてご講演いただいた。

セミナー終了後にアンケートを行い、結果は下記のとおりである。

講演について、「大変有益だった」「有益だった」と回答した者が全体の94.7%を占め、非常に好評だった。「まあまあ有益だった」と回答した者を含めると全回答者が講演を肯定的に評価しており、「思った内容と違った」との回答はなかった。自由記述では、「救急医を志望しているため、現場のことを知ることができ非常に良い機会となった」「自分が知らなかった制度や働き方を学ぶことができた」「今後もこのような会があれば参加したい」といった意見が寄せられた。



## 🍎 医師相談窓口のご案内 🍏

～青森県委託事業（医師の働きやすい環境づくりへの支援事業）～

青森県医師会では、お忙しい医師の皆様のために、各種保育サービスの情報提供や、育児休業制度や復職などに関する相談を受け付けております。

### ○保育サービス情報提供

- ・ベビーシッターを探したい。
- ・病児保育をやっているところはありますか？
- ・病院からの急な呼び出し！子どもを預かってくれる所は？

### ○医師就業などの各種相談

- ・育児が一段落したので復職したいが不安…
- ・日本医師会の女性医師バンクに登録するには？
- ・育児休業制度について詳しく知りたい！

※相談室での直接のご相談も行っております。(現役医師が対応します。ご予約が必要です。)

医師会加入の有無を問わず、医師であればどなたでもご相談いただけます。

些細なことでも、お気軽にご相談下さい！

専用フリーダイヤル:0800-800-1400

電話受付時間:月～金 9:00～17:00

FAX:017-718-3152

E-mailアドレス: [ishi-ouen@aomori.med.or.jp](mailto:ishi-ouen@aomori.med.or.jp)URL: <http://www.aomori.med.or.jp/joseishi/index.html>

※受付時間外時間帯はメール・FAXでお受けします。お預かりした個人情報、ご本人様の同意なく第三者に開示することはありません。

# 相談受付担当者向けハラスメント講演会

青森県産業保健総合支援センター 高松 隆

日時：令和8年6月22日(月)

場所：青森県医師会館4階(ハイブリッド開催)



## 講演タイトル「ペイシェントハラスメント相談対応」

### (1) 講演「ペイシェントハラスメント相談対応」

講演では、近年増加傾向にあるペイシェントハラスメント(患者・家族等による迷惑行為)の現状や類型、発生要因、対応方法等について説明があった。患者・家族の不安や認知症等が背景となる場合がある一方、不当要求に対しては「患者だから」と安易に受け入れるのではなく、組織として毅然と対応する姿勢が重要であるとの説明があった。

また、対応時は職員の安全確保を最優先とし、複数名での対応や記録・証拠保全、必要に応じた警察への相談など、組織的な対応体制を整備することの重要性が示された。さらに、相談窓口担当者には、相談者の心情に寄り添いながら傾聴し、否定的な言動を避けることや、一人で抱え込まず関係部署と連携することが求められるとの説明があった。

### (2) 意見交換

各医療機関におけるペイシェントハラスメントへの対応状況について情報共有が行われた。

規程や入院案内等へ対応方針を明文化している医療機関がある一方、ペイシェントハラスメントに特化した規程や運用体制が未整備の施設も多く、今後の課題として挙げられた。また、警察への通報基準や初動対応フロー、相談窓口の運用方法、防犯カメラの設置・録音運用など、安全確保に向けた具体的な取組についても意見交換が行われた。

相談事例を院内で共有し、組織全体で対応力の向上を図ることや、患者・家族に対して対応方針を決めることでハラスメントの抑止につながると高松講師より話された。

## 臨床研修病院等訪問(青森県立中央病院)

令和8年9月7日(月)

本会役員から医師支援事業を紹介した後、意見交換を行った。

意見交換では、産前産後休業・育児休業制度について、研修医への申請方法等の周知が十分ではないとの意見に対して、病院事務局より「県の制度に準じた休業制度を整備しているものの、制度の周知・利用方法の明確化が課題」との説明があった。

また当直・時間外勤務については、研修医から月4～5回程度の当直があり、子育て中の医師にとっては負担が大きいとの意見があった。また、当直明けの休息については、診療科や指導医の判断による部分も多く、制度

と実態の乖離が課題として挙げられた。

妊娠・出産を経験した医師からは、妊娠中から出産直後まで当直を免除され、周囲の協力を得ながら研修を継続した経験が紹介された。一方、当時は明確な制度がなく個別対応であったことから、今後の制度整備・周知の必要性が確認された。

また、若手医師のキャリア形成について、県内で研修・勤務できる施設が限られる一部の診療科では、専門医取得後の選択肢が少なく、県外流出につながる可能性があるとの意見があった。加えて、中堅医師の不足やロールモデルの少なさも課題として挙げられた。



青森県医師会では、医師の皆様が、働き方や制度について疑問に感じていることや、“こうすればもっと良くなるのに”と感じていることなど、ご意見・ご要望をお待ちしています。

発行／青森県医師会ワークライフバランス推進室

〒030-0801 青森県青森市新町2-8-21 青森県医師会館 6階

TEL 017-723-1911 FAX 017-718-3152 e-mail ishi-ouen@aomori.med.or.jp

### 【編集委員】

○富山 月子 ○工藤 史子

○樋口 毅 ○野田 浩